



様式第二号の八(第八条の四の五関係)

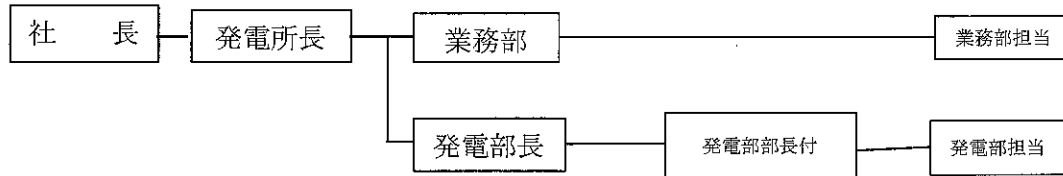
(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 6年 5月 2日	
いわき市長 殿	
提出者	
〒 971-8101	
住 所 福島県いわき市小名浜字渚2番地の4	
氏 名 サミット小名浜エスパワー株式会社	
代表取締役社長 山木 賢二	
電話番号 0246-73-0750	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	サミット小名浜エスパワー株式会社
事業場の所在地	福島県いわき市小名浜字渚2番地の4
計画期間	令和6年4月～令和7年3月 (1年間)
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	電気業
② 事業の規模	・発電電力量 373,557MWh (令和5年度実績) ※令和6年度以降は、0MWh (2024年3月末を以て既存設備を使用した石炭火力事業を終了させたため)
③ 従業員数	5月現在10名 (7月以降、2名)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	発生源(石炭ボイラ)→ボイラ下部(燃えがら)→処理業者へ委託 発生源(石炭ボイラ)→電気集塵機(ばいじん)→灰サイロ→処理業者へ委託 発生源(石炭ボイラ)→ボイラ出口煙道各所(ばいじん)→灰サイロ→処理業者へ委託 発生源(石炭ボイラ)→電気集塵機(ばいじん)→脱硫塔(汚泥)→処理業者へ委託 ・燃えがら及び汚泥はセメント原料として再利用または中間処理後埋立。 ・ばいじんはセメント、建材原料、再生路盤材として再利用または中間処理後埋立。 ・汚泥の一部、金属くず、木屑、廃プラスチック、ガラス・コンクリート・陶磁器、廃油、がれきは、機器の補修時に発生したもの、部品の梱包材、資材の外装袋であり、中間処理後埋立処分を行っている。 (処理業者へ委託)

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(令和5年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん	
	排出量	18,456.85 t	t
	(これまでに実施した取組) 放射能が処理先基準上問題なければ、セメント原料、建材用原料、再生路盤材として 発生ばいじんの大半は有効利用している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん	
	排出量	41.46 t	t
	(今後実施する予定の取組) 2024年3月末を以て既存設備を使用した石炭火力事業を終了。 今年度(4月)に、FAサイロ内在庫について、産廃処理を行ったもの。		
①現状	【前年度(令和5年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	燃えがら	
	排出量	1,956.66 t	t
	(これまでに実施した取組) 放射能が処理先基準上問題なければ、セメント原料、再生路盤材として発生燃えがらは大半は有効利用している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	燃えがら	
	排出量	12.38 t	t
	(今後実施する予定の取組) 2024年3月末を以て既存設備を使用した石炭火力事業を終了。 今年度(4月)に、BA置場内在庫について、産廃処理を行ったもの。		

	①現状	【前年度(令和5年度)実績】		
		産業廃棄物の種類	汚泥	
		排出量	96.30 t	t
		(これまでに実施した取組)		
		汚泥は、プラント運転中発生するものとプラント定期点検時発生するものがあり、 運転中発生するものについては、放射能が処理先基準上問題なければ、 セメント原料として有効利用している。 また、定期点検時発生汚泥は濃縮により減量させて処理委託している。		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	汚泥	
		排出量	57.5 t	t
		(今後実施する予定の取組)		
		2024年3月末を以て既存設備を使用した石炭火力事業を終了。 設備撤去工事を踏まえ、今年度(4/5月)に、ボイラ・各ホッパ・排水処理 設備各水槽内堆積物について、産廃処理を行うもの。		
	①現状	【前年度(令和5年度)実績】		
		産業廃棄物の種類	金属くず	
		排出量	0.05 t	t
		(これまでに実施した取組)		
		可能な限り取替部品を少なくするため、部品の延命策の 実施をしている。 また、排出した金属くずは、可能なかぎり有価で処分している。		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	金属くず	
		排出量	0.00 t	t
		(今後実施する予定の取組)		
		排出した金属くずは、可能なかぎり有価で処分する。		
	①現状	【前年度(令和5年度)実績】		
		産業廃棄物の種類	木屑	
		排出量	2.75 t	t
		(これまでに実施した取組)		
		可能な限り購入資材を少なくするための延命策を 実施している。		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	木屑	
		排出量	0.00 t	t
		(今後実施する予定の取組)		
		なし		
		【前年度(令和5年度)実績】		
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック	

①現状	排 出 量	3.62 t	t
	(これまでに実施した取組) 資材の外装袋や装置の部品等であり、資材使用量を減少するための見直しを行っている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	
	排 出 量	0.00 t	t
	(今後実施する予定の取組) 資材の外装袋や装置の部品等であり、資材使用量を減少するための運転方法を継続する。		
①現状	【前年度(令和5年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	
	排 出 量	0.03 t	t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	
	排 出 量	0.00 t	t
	(今後実施する予定の取組) なし		
①現状	【前年度(令和5年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	
	排 出 量	7.45 t	t
	(これまでに実施した取組) 基本的には有価物としての取扱いをしている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	
	排 出 量	5.42 t	t
	(今後実施する予定の取組) 基本的には、有価物としての取扱いをする。 2024年3月末を以て既存設備を使用した石炭火力事業を終了。 設備撤去工事を踏まえ今年度(4/5月)に、A重油タンク内油残渣について、有価物としての扱いが不可能であり、産廃処理を行うもの		
①現状	【前年度(令和5年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき	
	排 出 量	1.930 t	t
	(これまでに実施した取組) なし		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき	
	排出量	0.0 t	t
	(今後実施する予定の取組) なし		
①現状	【前年度(令和5年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	
	排出量	0.530 t	t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	
	排出量	0.0 t	t
	(今後実施する予定の取組) なし		

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) _____
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) _____

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度(令和5年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん、燃えがら、汚泥、金属くず、木屑、廃プラスチック、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、廃油、がれき、紙くず	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) _____		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん、燃えがら、汚泥、金属くず、木屑、廃プラスチック、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、廃油、がれき、紙くず	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) _____		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度(令和5年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん、燃えがら、汚泥、金属くず、木屑、廃プラスチック、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、廃油、がれき、紙くず	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) _____		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん、燃えがら、汚泥、金属くず、木屑、廃プラスチック、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、廃油、がれき、紙くず	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) _____		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度(令和5年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん、燃えがら、汚泥、金属くず、木屑、廃プラスチック、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、廃油、がれき、紙くず	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) _____		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん、燃えがら、汚泥、金属くず、木屑、廃プラスチック、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、廃油、がれき、紙くず	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) _____		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(令和5年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	ば い じ ん	
	全 処 理 委 託 量	18,456.85 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	5,834.34 t	t
	再生利用業者への処理委託量	18,456.85 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
	放射能が処理先基準上問題なければ、セメント原料、建材用原料、再生路盤材として 発生ばいじんは大半は有効利用している。		
	②計画	【目標】	
産業廃棄物の種類		ば い じ ん	
全処理委託量		41.46 t	t
優良認定処理業者への処理委託量		32.02 t	t
再生利用業者への処理委託量		41.46 t	t
認定熱回収業者への処理委託量		0 t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		0 t	t
(今後実施する予定の取組)			
2024年3月末を以て既存設備を使用した石炭火力事業を終了。 今年度(4月)に、FAサイロ内在庫について、産廃処理を行ったもの。			

※事務処理欄

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(令和5年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	燃 え が ら	
	全 処 理 委 託 量	1,956.66 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	1,956.66 t	t
	再生利用業者への処理委託量	1,956.66 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
	放射能が処理先基準上問題なければ、セメント原料、再生路盤材として発生燃えがらは大半は有効利用している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	燃 え が ら	
	全 処 理 委 託 量	12.38 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	12.38 t	t
	再生利用業者への処理委託量	12.38 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	2024年3月末を以て既存設備を使用した石炭火力事業を終了。		
	今年度(4月)に、BA置場内在庫について、産廃処理を行ったもの。		

※事務処理欄

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(令和5年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	汚 泥	
	全 処 理 委 託 量	96.30 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	94.70 t	t
	再生利用業者への処理委託量	9.21 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
	プラント運転時発生するものと、定期点検時発生するものがあり運転時発生汚泥は、通常セメントメーカーへ処理委託し再生利用しているが、放射能の問題により大半は、埋立処分業者への委託となった。 また、定期点検時発生汚泥は、濃縮により減量させて処理委託している。		
	②計画	【目標】	
産業廃棄物の種類		汚 泥	
全 処 理 委 託 量		57.50 t	t
優良認定処理業者への処理委託量		0.00 t	t
再生利用業者への処理委託量		0.00 t	t
認定熱回収業者への処理委託量		0 t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		0 t	t
(今後実施する予定の取組)			
2024年3月末を以て既存設備を使用した石炭火力事業を終了。 設備撤去工事を踏まえ、今年度(4/5月)に、ボイラ・各ホッパ・排水処理設備各水槽内堆積物について、産廃処理を行うもの。			

※事務処理欄

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(令和5年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	
	全処理委託量	0.05 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	0.05 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
	可能な限り取替部品を少なくするため、部品の延命策の実施をしている。		
	また、排出した金属くずは、可能なかぎり有価で処分している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	
	全処理委託量	0 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	排出した金属くずは、可能なかぎり有価で処分する。		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(令和5年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	木 屑	
	全 処 理 委 託 量	2.75 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	2.75 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
	可能な限り購入資材を少なくするための延命策を		
	実施している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木 屑	
	全 処 理 委 託 量	0 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	なし		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(令和5年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	
	全処理委託量	3.62 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	1.01 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
	資材の外装袋や装置の部品等であり、資材使用量を減少		
	するための運転方法の見直しを行っている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	
	全処理委託量	0.0 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	なし		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(令和5年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	
	全処理委託量	0.03 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
	なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	
	全処理委託量	0.00 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	なし		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(令和5年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	
	全処理委託量	7.45 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	7.45 t	t
	再生利用業者への処理委託量	7.45 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
	基本的には、有価物としての取扱いをしている。 4月にA重油タンク内A重油の飛散処理を実施。 有価物としての扱いが、不可能であり、産廃処理を行った。(計7.45KL)		
	【目標】		
②計画	産業廃棄物の種類	廃油	
	全処理委託量	5.42 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	5.42 t	t
	再生利用業者への処理委託量	5.42 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	基本的には、有価物としての取扱いをする。 2024年3月末を以て既存設備を使用した石炭火力事業を終了。 設備撤去工事を踏まえ今年度(4/5月)に、A重油タンク内油残渣 について、有価物としての扱いが不可能であり、産廃処理を行うもの		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(令和5年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき	
	全処理委託量	1.93 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
	なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき	
	全処理委託量	0.0 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	なし		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(令和5年度)実績】			
	産業廃棄物の種類	紙くず		
	全処理委託量	0.53 t	t	
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t	
	再生利用業者への処理委託量	0.53 t	t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t	
	(これまでに実施した取組)			
	なし			
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	紙くず	
		全処理委託量	0.0 t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t
		再生利用業者への処理委託量	0 t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		0 t	t	
(今後実施する予定の取組)				
なし				
※事務処理欄				

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出のこと。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施工令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「－」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。